

## 植物多様性センターの「初春の花」

1月5日に寒の入りを迎え、一年で最も寒い時期になりました。気温は低いですが、冬至を過ぎ昼の時間は長くなり始めています。立春までの間に昼の時間は10時間を超え(14日～)、日没時刻も午後5時以降(23日～)になります。東京の冬は日本の他の地域に比べて晴れが多く、穏やかな陽だまりは暖かさを感じます。

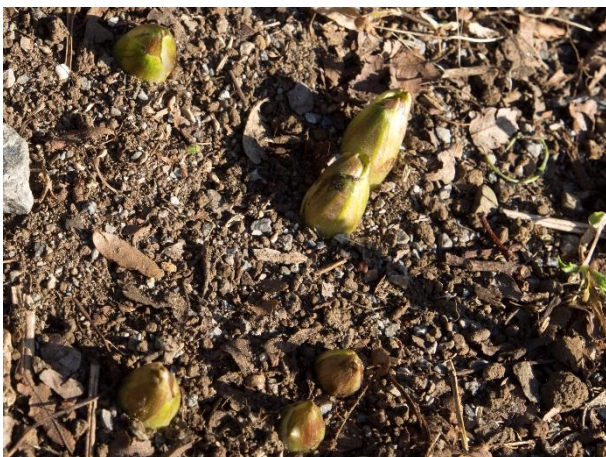
植物はこうした自然の微妙な変化に対応し、早春に花をつける種は開花準備に余念がありません。ユキワリイチゲやウメは蕾が膨らみ、フクジュソウも準備万端。気温が5℃を上回ると植物の生理活性が高まり、昼間の暖かさで着実に準備を進めています。



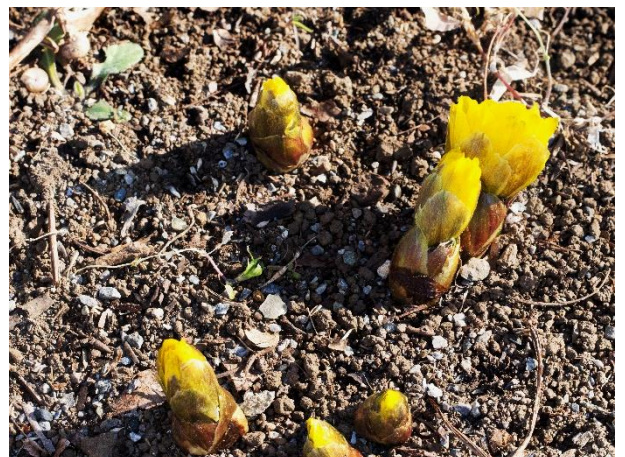
葉の色と区別がしにくい  
ユキワリイチゲの蕾



昨年より膨らみ方が遅い  
果樹林エリアのウメ



落葉掻きの後に見つけた  
フクジュソウの芽(12/18)



暖かい陽射しの中で  
今にも咲きそう(1/11)